

かめやま教育通信

第58回



児童・生徒一人ひとりの学力や学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて

5月27日に、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、小学校では国語と算数、中学校では国語と数学に関する教科調査のほか、児童・生徒の学習状況等をとらえるための質問紙調査が行われました。

国語、算数・数学の平均正答率

小学校の国語では、全国・県の平均正答率を上回りました。それ以外の教科については、全国・県の平均正答率を下回りました。また、次のように、本市の子どもの優れている点と課題が分かりました。

【平均正答率】

(単位：%)

	小学校6年生		中学校3年生	
	国語	算数	国語	数学
亀山市	66.0	68.0	59.0	54.0
三重県	64.1	69.3	63.0	57.7
全国	64.7	70.2	64.6	57.2

【国語】

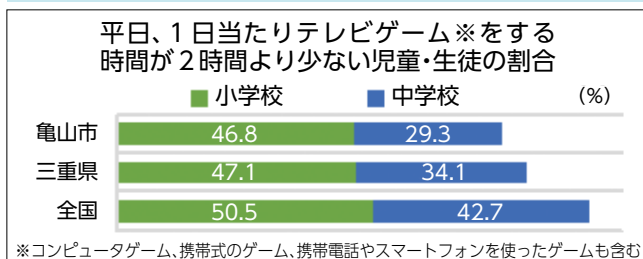
	優れている点	課題
小学校	主語と述語の関係をとらえること	目的を意識して要約すること
中学校	漢字を読むこと	文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えを持つこと

【算数・数学】

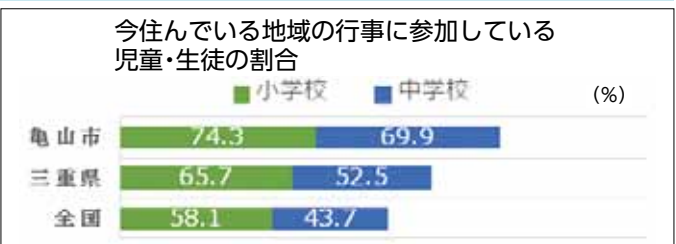
	優れている点	課題
小学校	データを表に分類整理すること	三角形の面積を求めること
中学校	データから中央値を求めること	数学的な表現を使って説明すること

児童・生徒の学習状況、生活習慣等

〈基本的生活習慣等〉



〈地域や社会に関わる活動の状況〉

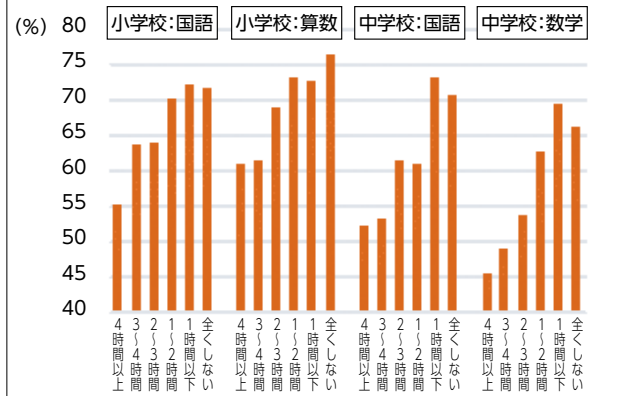


「地域の行事に参加している児童・生徒」や「学校に行くのが楽しいと感じている児童・生徒」の割合が全国平均と比べて高くなっています。一方で、「平日、1日当たりのテレビゲームをする時間が2時間より少ない児童・生徒」や「普段30分以上読書をする児童・生徒」の割合が全国平均と比べて低くなっています。

左のグラフは、1日当たりのゲームの時間と教科の平均正答率の相関関係を表しています。テレビゲームをする時間が短い児童・生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。また、生活習慣と学力向上には、強い相関関係があると言えます。

この調査で把握できる学力や学習状況は一部ですが、調査結果から児童・生徒一人ひとりの学習における課題を把握し、学習の理解と定着を図ることができるよう、教職員の授業力向上に力を入れて取り組みます。また、引き続き家庭学習や生活習慣の見直しの啓発を行います。

1日当たりのゲームの時間と教科の平均正答率の相関



問合せ 教育委員会事務局学校教育課教育支援グループ ☎84-5076